

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公衆便所維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	いずれのトイレも、駅利用者、周辺住民に利用されており、公衆衛生に役立っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	年間を通じて公衆便所を清潔に保つ。
対象 ※誰、何に対して	公衆便所(3箇所:篠原町、JR 厄神駅、JR 神野駅)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公衆便所(3箇所)の清掃を委託する。また、必要に応じて修繕等を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,948 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,948 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,948 千円	3,026 千円	2,999 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	環境衛生上必要な公衆トイレは、市民の維持要望も強いいため、経費の削減は難しいと考える。また最近、いたづら等によるトイレの故障事例が多発しており、貼り紙をするなど注意喚起を行っているが、これといった効果的な方法がないのが実情である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公衆便所維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	犬の登録・狂犬病予防注射等事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	狂犬病予防法 加古川市犬の登録等実施要綱

【事業概要】

現状と課題	長年にわたり国内における狂犬病の発症例が皆無であることもあり、予防注射の接種率は横ばい傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し、及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び安心・安全なまちづくりを図る。
対象 ※誰、何に対して	市に登録のある犬の飼い主
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	犬の飼い主に狂犬病予防注射の案内通知を送付する。4月には市内の公園や公民館等へ獣医師とともに出向き、巡回による予防接種を実施する。年度の後半には未接種犬の飼い主に接種催促状を送付する。一年を通じて獣医師会に予防接種に関する事務を委託する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,114 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,114 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	005 犬の登録・狂犬病予防注射等事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,114 千円	4,206 千円	2,887 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	犬の登録業務等については、狂犬病予防法に基づく業務であり、継続して実施する必要がある。また、平成28年度から動物愛護の観点から動物愛護週間にパネル展を実施し、適正な飼育や最後まで面倒を見る重要性を訴えるなど啓発活動にも力を入れている。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	犬の登録・狂犬病予防注射等事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	保健衛生の推進を図っているが、ごみ減量化や保健衛生のさらなる推進に向けた取り組みが必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健全な生活と保健衛生の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	環境衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。また、スズメバチ駆除費に対する補助を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,669 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,669 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,669 千円	2,013 千円	1,283 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>ごみ分別の徹底、ごみ減量の推進、ごみ集積場の環境衛生保持などの観点から、保健衛生協議会への補助は、今後も継続して行う必要があると考える。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
単位町内会・自治会	町内 会・自 治会	320		322
支部	地区	25		25

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
保健衛生推進委員研修 会開催回数	回	25	25	26
活動指標 分析結果	限られた運営費で各地区ごとの研修会をさらに充実させるために、平成25年度から推進委員の全市研修会を廃止した。しかし、平成34年度の広域ごみ処理に向けて、ごみ減量20%を達成することが喫緊の課題であるため、平成27年度より全市研修会を復活させるなど更なる研修会の充実を図っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
地区別研修会参加者数	人	560	572	573	平成30 年度	630
全市研修会参加者数	人	350	357	371	平成30 年度	410
成果指標 分析結果	補助金が減額傾向ではあるが、予算の範囲でできる限りの事業展開をする必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成16年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	地域での一斉清掃については、多数の地域団体が行っている。また、アダプトプログラムについては、高齢化等による理由から活動を停止する団体もある。アダプトプログラム参加団体の増加が課題。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の環境美化への意識向上
対象 ※誰、何に対して	市民・町内会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	アダプトプログラム登録制度を実施し、活動団体を支援する。地域の清掃活動に対して支援を行い、美化活動推進の啓発を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	639千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	639千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	010 環境美化推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	639千円	286千円	314千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	町内会等の地域団体、市民ボランティア団体への支援により、地域コミュニティの活性化を図りながら美化活動への意識向上に貢献していると考えられる。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会	320	320	320
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	262,647	263,954	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
町内会一斉清掃実施団体	団体	301	247	234
アダプトプログラム登録団体数	団体	35	36	37
活動指標分析結果	町内会一斉清掃実施団体に対しては、清掃活動への支援としてごみ袋の支給、ごみ鉢の貸出しを行っている。アダプトプログラムについては、普及啓発を行い参加団体を増やす必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
町内会一斉清掃回数	回	643	564	423	平成32年度	650
アダプトプログラム登録団体数	団体	35	36	37	平成32年度	50
成果指標分析結果	地域美化のPR等により、地域の美化意識の高揚に繋がっており一斉清掃の実施回数が安定したものとなっている。					

事務事業名	し尿収集管理事業に要する一般的経費	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数は、公共下水道の普及及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にある。平成30年度は5,906世帯（直営及び委託収集対象）。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	し尿処理手数料の賦課徴収を行うことにより、し尿収集事業を適正に執行し、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	家庭等から排出されるし尿の量に対して、し尿処理手数料の賦課徴収を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,871 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	210 千円
	一般財源	2,661 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	005 し尿収集管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,871 千円	2,964 千円	1,384 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	新住民情報システム稼働に対応する最適化事務を進め、新たなし尿処理管理システムでのし尿収集管理業務を実施できるようになった。また、納付方法についても、コンビニでの納付ができるよう納付環境を整備した。

事務事業名	し尿収集管理事業に要する一般的経費	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	30年度は再任用3人を含む18人6班体制で、2,414件の直営での収集を実施した。対象世帯は、委託分とあわせて5,906世帯となっている。合併処理浄化槽や公共下水道への切り替えにより、し尿収集世帯は減少している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	し尿収集登録世帯の内、直営が担当する地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	9,461千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	9,461千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	06し尿処理費
細目	010し尿収集事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	9,461千円	32,995千円	8,528千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	下水道及び合併処理浄化槽の普及に伴い、し尿収集世帯数及びし尿収集量は減少している。携帯端末機器やし尿処理管理システムを活用し、直営区域における計画収集を実施している。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	尾上処理工場の運営に付随する事務（業務委託手続、浄化槽清掃業許可等）、浄化槽設置届受付事務のほか、公用車の管理等の事務を実施している。事務所は2階にあり、文書庫や会議室はなく書類の保管場所が不足している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	尾上処理工場の事務を適正に実施することにより、施設の健全な運営を推進する。
対象 ※誰、何に対して	尾上処理工場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業予算を有効に活用し、尾上処理工場の効率、適正な管理運営を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	138 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	138 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	07 し尿処理施設費
細目	005 し尿終末処理管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	138 千円	364 千円	1,153 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成6年登録の公用車1台の更新により、事務の効率化に寄与した。また、施設案内看板を市道加古川別府港線道路敷に設置し来訪する市民の便宜を図った。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設管理運営事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	平成13年度から主処理設備(し尿等の無害化处理)を停止し、単一の処理システムとなり、故障が頻発している。また、し尿等の性状変化により協定基準の遵守が難しく、処理工程の見直し・施設配置の根本的な見直し等のほか、施設更新・大規模改修等が必要な時期に来ている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川下流浄化センターの受入基準(希釈し尿の水質)に適合するよう、し尿・浄化槽汚泥の前処理(砂・し渣の除去)を行い、施設の安定的な稼働、処理機能の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上処理工場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	尾上処理工場の設備等の保守点検、整備を行い処理機能の維持及び運転管理をする。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	74,502千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	15,800千円
	一般財源	58,702千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	07し尿処理施設費
細目	010し尿終末処理施設維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	74,502千円	64,468千円	95,598千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>現在の施設は昭和55年度以前のし尿処理施設が元になっている。平成13年度以降は、加古川下流浄化センターへの下水道投入処理を実施している。従来の主処理設備(し尿等の浄化处理⇒河川放流)の休止に伴い、単一の処理システムだけで稼働を続けており、一部の故障により全体が停止する構造となっている。平成13年度の改造部分を含めて老朽化が進んでおり、また、搬入し尿等の性状変化により協定基準の遵守が難しくなりつつある。安定稼働のための処理工程の見直し・施設配置の根本的な見直し等のほか、施設更新・大規模改修等が必要な時期に来ている。</p>

事務事業名	し尿終末処理施設維持補修事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	施設全体の老朽化・し尿等の性状変化等により、施設の安定稼働に支障が出ている。協定基準を遵守するための処理工程の見直し・施設配置の根本的な見直し等のほか、施設更新・大規模改修等が必要な時期に来ている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市単独でし尿・浄化槽汚泥を適正処理するため、処理施設を建設、運営することと比較して、コストが低い加古川下流浄化センターに処理委託し、適正処理を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市域から発生するし尿・浄化槽汚泥。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	尾上処理工場に集められた、し尿・浄化槽汚泥を前処理を行ったうえで加古川下流浄化センターに投入し、し尿等の適正処理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	117,747 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	117,747 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	07し尿処理施設費
細目	010し尿終末処理施設維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	117,747 千円	120,030 千円	132,477 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>し尿の搬入量は減少傾向にあるが、最近、浄化槽汚泥の搬入量が増加傾向にある。浄化槽汚泥混入率の上昇(H13年度26%⇒H30年度52%)により投入し尿の性状がこれまでのものと変化しており、兵庫県の受入基準を遵守するため、従来の前処理・希釈処理工程の見直しが必要となっている。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及によりし尿収集登録世帯数は減少傾向にあるが、対象世帯の地域的縮小は進まず直営・委託とも収集効率が低下している。平成30年4月1日現在くみ取り世帯数の内、委託3,492世帯、直営2,414世帯、全体で5,906世帯である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯の内、し尿収集運搬業務委託による委託区域のし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	79,617千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,178千円
	一般財源	78,439千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	06し尿処理費
細目	005し尿収集管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	79,617千円	81,559千円	88,270千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置が進む中、し尿汲取り登録世帯は年々減少している。平成30年4月1日時点では、5,906件、そのうち直営2,414件、委託3,492件である。委託の年度ごとの増減をみると年間170～300件程度減少し続けている。10年間で1,843件(約34%)の減少である。汲取り便所から下水道や浄化槽への転換が進み、本市の水環境は向上している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
し尿収集登録世帯数	世帯	5,906	6,258	6,637

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
し尿収集運搬業務委託業者数	社	7	7	7
活動指標分析結果	平成27年10月から1社減の7社に委託している。し尿汲取りは、便槽の数、容量、設置場所や狭路での進入路等、熟知しなければならぬ事項が多く、各社に収集地区を割り振っている。内訳は、志方地区4社、旧加古川市地区3社であり、適正な業務の執行を行っている。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
委託によるし尿収集世帯数	世帯	3,492	3,795	3,994	平成30年度	3,629
成果指標分析結果	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により、し尿収集世帯数は減少傾向にある。委託業者には、一般家庭のほか仮設トイレのし尿収集を委託しており、工事等のために一時的に設置するトイレの汲取りにも対応している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成25年度～平成37年度
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市浄化槽設置整備事業補助金等交付要綱

【事業概要】

現状と課題	平成27年3月20日付で「加古川市公共下水道計画区域の都市計画変更」が決定され、補助対象地域が拡充された。平成28年1月に「東播臨海広域市町圏における循環型社会形成推進地域計画」において合併処理浄化槽の設置事業計画等の変更申請を行い、計画基数増としている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進し、生活環境の改善と公共水域の水質保全を推進する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市生活排水処理計画での公共下水道、農業集落排水処理施設で排水処理することとされている区域以外の区域で、都市計画法に規定する工業専用地域以外の区域において、10人槽以下の浄化槽を設置しようとする者及び適正な維持管理を行った者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	設置する合併処理浄化槽の人槽に応じて5人槽77万円～10人槽125万円の補助金を、合併処理浄化槽設置にあたり単独処理浄化槽の撤去費補助6万円を、汲取りから合併処理浄化槽への改造工事は5万円、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への改造工事は2万5千円の助成金を交付する。その他、高度処理型浄化槽の設置の場合は上乗せ補助を設けている。また、維持管理費補助は2万円を交付する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	175,677千円	
財源内訳	国庫支出金	26,814千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	148,863千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	06し尿処理費
細目	015合併浄化槽設置補助事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	175,677千円	161,497千円	227,124千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道整備区域の見直しにより、平成27年度に設置補助事業の拡充と維持管理費補助事業の創設を行った。今後は補助事業の適正な執行のほか、広報、ホームページ、チラシ配布及び説明会等による市民や設置業者への積極的なPRも図り、法定検査受検率の向上にも努める必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
公共下水道・農業集落排水処理施設対象区域外人口	人	12,641	12,703	12,728

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
合併処理浄化槽設置補助申請件数	件	169	160	239
合併処理浄化槽維持管理費補助申請件数	件	1,038	786	483
活動指標分析結果	広報、各戸配付チラシ及び市から依頼した関係業者からの周知PRにより問合せも増加し、補助金制度の周知は図られていると考えるが、より推進していくためには新たな周知PRも必要になると考える。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
合併処理浄化槽設置補助交付件数(H25～H39累計)	件	877	710	550	平成34年度	1,852
生活排水処理率	%	94.9	94.8	94.7	平成32年度	97.6
法定検査受検率	%	74.9	71.3		平成34年度	72
成果指標分析結果	浄化槽処理区域内の設置状況は、循環型社会形成推進地域計画に基づき、平成25年から10年間で、1,852基を設置目標とし、6年間で877基を設置済みである。また、生活排水処理率の平成30年度実績は94.9%で、今後も処理率は伸びていくと考える。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度～永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	直営収集地域において6班体制で、常時6台稼働している。予備車は、狭路用の2トン車、故障時対応用の3トン車、土日祝日等のイベント対応用の4トン車の計3台を保有している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(計画的・効率的)に収集・運搬する事で公衆衛生を確保する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、直営区域に存在するし尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	し尿収集登録世帯の内、直営区域におけるし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	7,343千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	5,400千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,943千円

【会計】

会計	01一般会計
款	04衛生費
項	02清掃費
目	06し尿処理費
細目	020し尿収集車両購入事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	7,343千円	千円	7,242千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>し尿を適正に収集運搬し公衆衛生を確保するため、30年度で老朽化したし尿収集車両を1台更新した。なお、更新後、不要となった車両はオークションにかけて売却処分を行う予定である。</p>

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
直営担当し尿収集世帯数	世帯	2,414		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
し尿収集車両保有台数	台	9		
活動指標分析結果	公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置にともない、直営担当し尿収集世帯は減少しているが、地域的観点からは密度が薄くなっており、面積的には狭まっていない。当面、6班体制は維持する予定。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
直営によるし尿収集量	KL	6,421			平成31年度	6,152
成果指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、し尿収集量は減少しているが、1台あたりの車両走行距離はさほど減少していない。					